

令和2年度「新たな都市空間創造スクール」カリキュラム(案)

クール	R2年度			概要
	講義テーマ	講師	時間数	
第1クール 官民連携の先進事例と考え方	公民連携のまちづくり	株式会社 アフタヌーンソサエティ 代表取締役 清水 義次	60分	リノベーションまちづくりの事例や公民連携事業の事例とその有用性について概説
	民間による先駆的まちづくり	有限会社 ハートビートプラン 代表取締役 泉 英明	60分	公共空間を民間が活用した新しいまちづくりの事例とその有用性について概説
第2クール: まちづくりの時代的転換	マネジメント時代のまちづくり	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 副研究科長 社会文化環境学専攻 教授 出口 敦	45分	都市を整備する時代からマネジメントをする時代へと変化していること、公民学の連携で知恵と工夫を結集する必要があること、官民が連携したプラットフォームの取り組みについて概説
	エリアマネジメント	法政大学 現代福祉学部・人間社会研究科 教授 保井 美樹	60分	日本におけるエリアマネジメントに関する主な取り組み事例と今後の取り組みの方向性について概説
	公民連携の必要性	せんだいリノベーションまちづくり実行委員会 代表理事/ 株式会社 URリネージュ東北支店 技術顧問 小島 博仁	30分	公民連携の必要性和自治体の意識改革が必要なことについて概説
	市民意識の醸成と都市経営方針の明確化	大東公民連携まちづくり事業 株式会社 代表取締役 入江 智子 大東市 政策推進部長 東 克宏	60分	大東市の公民連携基本計画及び公民連携基本条例及び大東市における公民連携による市営住宅建替事業等の取組について説明
第3クール 民間の実践者と向き合う自治体	北九州リノベーションまちづくり	北九州市 産業経済局 地域・観光産業振興部 商業・サービス産業政策課 サービス産業政策係長 上野 貢太郎	60分	北九州でのリノベーションまちづくりの経緯と、行政側の取り組みについて
	札幌中心部のエリアマネジメント	札幌駅前通まちづくり 株式会社 前代表取締役社長 白鳥 健志	60分	民間のまちづくり会社による公共空間の利活用の取り組みと維持管理の仕組みについて
	地域に眠るプレーヤーの発掘	株式会社 奏草舎 取締役/ 株式会社 Daisy Fresh 代表取締役 中山 拓郎 草加市 自治文化部 産業振興課長 高橋 浩志郎	60分	そうかリノベーションまちづくりにより、地域に眠っていた人材が発掘され、新しいライフスタイルの創出による取り組みについて
	民間プレーヤーの発掘	国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室 株式会社 宿坊クリエイティブ 代表取締役 水辺座店主 武内 淳	60分	都市再生推進法人制度及び、リノベーションスクールを通じた民間プレーヤーの発掘方法、民間プレーヤーの取り組み事例について
シンポジウム これからの行政が果たすべき役割	集合研修(現地開催+インターネット配信)			シンポジウムを実施
	関係団体紹介	UR、民都、マチミチ会議、ミズベリング		関係団体の取組施策紹介
	基調講演	株式会社 オープン・エー 代表取締役 馬場 正尊	60分	公民連携による公共空間活用と政策展開の可能性について
	講演	国土交通省 都市局		これからの行政官に期待したいこと
第4クール 個別手法	官民連携による都市公園の活用	公益財団法人 東京都公園協会 特命担当部長 町田 誠 株式会社 Nest 代表取締役 青木 純	60分	Park-PFI制度等の官民が連携した都市公園の整備・活用制度の概要及び官民連携による南池袋公園及びグリーン大通りの活用事例について
	街路空間の活用	国土交通省 都市局 街路交通施設課	60分	道路占用許可特例制度とストリートデザインガイドライン、都市再生特別措置法改正概要及び、神戸市の都市の活性化を目指す「えきまち空間」基本計画、「金沢市における駐車場の適正な配置に関する条例」等に基づく、駐車場整備の最適化に関する取り組みについて
		神戸市 都市局 都心再整備本部 都心三宮再整備課長 清水 陽		
	河川空間の活用	国土交通省 都市局 交通政策部 交通政策課 元主査 川口 甘司	30分	河川敷地占用許可準則の概要とミズベリングの取り組み及び、GURUWA戦略に基づいて乙川のリバーフロント活用を進めている岡崎市の取り組みについて
		国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 岡崎市 都市整備部 次長兼都市施設課長 香村 尚将	60分	
広場の活用	豊田市 経営戦略部長 栗本 光太郎	30分	「居心地良く歩きたくなる」まちなか形成に向けた「あそべるとよたプロジェクト」に基づき取組む広場活用等について	
最終クール	最終課題レポート発表会	都市経営と官民連携型のまちづくりセミナー内で開催		各地方整備局等において、グループごとに最終課題を発表し、講師から講評を行う。